

平成20年4月30日

各位

会社名 株式会社りそなホールディングス
代表執行役社長 檜垣 誠司

コード番号 8308

上場取引所 東証・大証 各市場第1部

平成20年3月期 通期業績予想の修正について

当社は、平成20年3月期通期業績予想について、現時点において以下の通り予想しておりますのでお知らせいたします。

I. 通期業績予想〔平成19年4月1日～平成20年3月31日〕

(単位:億円)	連結業績			単体業績		
	経常収益	経常利益	当期純利益	営業収益	経常利益	当期純利益
前回予想 ①	10,900	2,700	2,300	6,000	5,900	5,900
今回予想 ②	11,100	2,300	3,000	6,000	5,900	6,200
増減額 ②-①	+ 200	△ 400	+ 700	—	—	+ 300
増減率 (②-①)÷①	+1.8%	△14.8%	+30.4%	—	—	+5.1%

(注) 前回予想は、平成19年11月16日に公表した通期業績予想です。

【参考】傘下銀行合算の通期業績見込(詳細は決算発表時にお知らせいたします)

(単位:億円)	傘下銀行					前回予想比 ^(注2)
	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	りそな信託	合算(概算)	
業務粗利益	4,440	1,580	660	310	7,000	△ 140
経 費 (△)	2,340	730	440	120	3,640	+ 30
実勢業務純益 ^(注1)	2,100	850	220	190	3,360	△ 110
株式関係損益	△ 450	0	0	—	△ 450	△ 410
与信費用総額(△)	220	120	60	—	400	+ 100
税引“前”当期利益	2,040	690	90	190	3,000	+ 50
税引後当期純利益					2,600	+ 250

(注1) 「実勢業務純益」は、信託勘定不良債権処理、一般貸倒引当金繰入前の業務純益

(注2) 「前回予想比」欄は、当期純利益に対してプラスに影響する場合には「+」、マイナスに影響する場合には「△」を付しています。

II. 通期業績予想の内容

- 平成20年3月期(通期)の連結当期純利益は、傘下銀行合算の当期利益が前回予想を上回った(+250億円)ことや、りそなホールディングス単体において繰延税金資産が増加(+300億円)したことなどにより、前回予想を上回る見込です。
- 傘下銀行合算においては、実勢業務純益が前回予想比下回ったほか、株式関係損益が減少(非上場株式の減損に伴う損失計上等)した一方、非上場株式に係る引当金の取崩や債権売却益等の特別利益、東京本社ビル譲渡に伴う繰延税金資産の計上の影響などにより、前回予想を上回る(+250億円)見込です。

以上

(注) 上記に記載した予想値については、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績については、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。